

日本基督教団 八ヶ岳教会 主日礼拝 NO.1199 2021年11月21日

牧師 山本護 奏楽 花曲琴音 第一部礼拝 司式 青柳均 9:30~10:30  
 ※讃美歌は二番までうたいます 第二部礼拝 司式 平尾文子 11:00~12:00

前奏	黙想	祈禱	
讃美歌	30 あさかぜしずかにふきて	讃美歌	97 朝日はのぼりて
祈禱		献金	
信仰告白	使徒信条 566	讃詠	547 いまささぐるそなえものを
聖書	イザヤ書 65:17 ヨハネによる福音書 1:14	黙禱	
讃美歌	310 しずけきいのりの	主の祈り	564
説教	『言のまま肉となった』	讃詠	546 聖なるかな
		祝禱	後奏

八ヶ岳に住んでいると野生動物との事件が何かしらあるだろうが、私が遭遇した一番の自慢話は自宅裏の森でのこと。木のウロにいる二羽のフクロウ雛を覗き込んでいると、母フクロウに鋭い爪でガツンとやられた。人間に強く突き飛ばされるほどの衝撃で、背中についた六つの爪痕から血が流れた。仔熊がいたら可愛いからと近づいてはならない、母熊が近くにいるから危険と言われるが、私はフクロウ体験で身をもって知った。ごめんね、フクロウ母ちゃん。クリスマスの証言もそういう感じか。

「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた(ヨハネ 1:14)」。私たちが「肉」として見ている神の独り子の栄光。「いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである(1:18)」。ということは、私たちには見えないが、肉なるキリストの輝きの内に神の恵みと真理が、在る。気づかなくとも、母フクロウのように、母熊のように、確かに共にいる。

「言は肉となった(1:14)」。「言」は神であると同時に、神と共に在るキリスト(1:1)。「肉」は世にある人間で、「言」を認知しえない(1:10)。だから言が、肉となった。言の側から肉になった。その言は、言をやめて肉に変わったのではない。言のまま肉となった。「わたしたちの間に宿られた」のはその肉だ。私たちが見、聞き、触れることができるのは、肉としてのキリスト。言としてのキリストは認識しえない。とはいえ肉のキリストを通して、言のキリストを、つまり「父の独り子としての栄光を見る(1:14)」ことができる。栄光は言としてのキリストで、そこに神の恵みと真理が啓示されている(1:14)。

説明として聞くと込み入ってややこしいが、クリスマスの奇跡として「感じて」みると案外、素朴。私たちが肉のキリストによって、言のキリストの栄光を予感し、接することができる。私たちが己が暗闇(罪)のために光を把握することはできないが(1:5)、命の光は私たちに照らしている(1:4)。光を認識できなくともよい、言を理解できなくともよい(1:10)。私たちが言の命に照らされているのだから(1:4)。私たち一人ひとりが、言の創造の内にあるのだから(1:3)。永遠の言が(1:1)、地上に現われて私たちと共に在り(1:14)、その永遠の言に結びつけられているのだから、言が明快でなくともよい。

「見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。初めからのことを思い起こすものはない。それは誰の心にも上ることはない(イザヤ 65:17)」。無から起こされる宇宙の創造、驚くべき神の御業。つまり「万物は言によって成った(ヨハネ 1:3)」。神の創造はあまりに巨大なため「誰の心にも上ることはない(イザヤ 65:17)」。すなわち「世は言によって成ったが、世は言を認めなかった(ヨハネ 1:10)」。これほどに壮大な、時をも超える永遠の「言」が、なんと「肉となってわたしたちの間に宿られた(1:14)」のだ。

「恵みと真理とに満ちていた(1:14)」クリスマスの奇跡。私たちがその「栄光を見る(1:14)」だけに留まらず、「恵みの上に、更に恵みを受ける(1:16)」。キリストとの結びつきはそれほどに圧倒的な恵みだ。新しい天と新しい地の創造(イザヤ 65:17)に連続する私は、天と地の痛みと喜びをこの身に覚える。

人が通りかかると鳥は逃げる 狐は逃げる 蛇は逃げる カマドウマは逃げる だが蟻は逃げない  
 寸法の差で隔てられているのか 神と人もまた 人となった神の御子 痛みと喜びはいっそう深く

次主日 11/28 の待降節から、礼拝は従来のように 10:30~の 1 回になります。お間違いなきように。  
 この日は長崎哲夫牧師に説教していただきます。11/23(火祝) 1:30~分区信徒大会(山梨市市民会館)。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。